

こども記者の調査結果 ミッション③ 奈良時代 の“シナノ”

紙の代わりに木の札で命令伝える!

三輪春奈記者

今から1300年ほど前の奈良時代は、紙がきちようだったこともあって、文字などはほとんど木簡に書かれていました。文字は、奈良時代になる少し前からつかわれるようになりました。中国でつかわれていて、それをとり入れたら、本かきつてきたら、今から1300年ほど前だったよう

す。木簡は、やく人がめいれいをつたえる時、ぜいをわたす時などにつかわれていました。ぜいを出して都にといたものは、やくめ



奈良の土の中から出てきた“シナノ”からの木簡たち

をはたしたのですてられました。すてられたものの中には、はつくつされてできたものもあります。木簡の多くは、やく人が書いていました。なぜなら、字の読み書きができたのは、やく人くらいだったからです。このやく人は、かならず小刀とふでをもっていたため、刀筆吏とよばれることもありました。さいに木簡を作りました。

木簡作りに挑戦!



南達えん文字は小刀でけずるよ



木簡の完成!

ニュー あたらしい ミッション NEW MISSION

こども記者たちのチャレンジを待ってるよ!

みんなの「信濃の国」を探ろう!

「信濃の国」をテーマにした記事を募集しています。

ピンは3月27日(日)付
信毎こども新聞にあるよ!



信毎こども記者クラブは今年、「たんけん 信濃の国」をテーマにしているよ。県歌「信濃の国」では、長野県の自然や工業、偉人などがたくさん歌われているね。「信濃の国」にまつわることに、誰かにインタビューしたり、本などで調べたり、取材して記事にしてみよう! 原稿を信毎こども記者クラブまでどしどし送ってね。みんなからの記事をいつでも待ってるよ!

時代ごとの“シナノ”を案内してくれた 隊長からのメッセージ

隊長は歴史の専門家で、長野県立歴史館の学芸員さんです。

① 縄文時代
費田明隊長



みなさんの記事には生き生きとした縄文人の姿が描かれ、イメージもよかったです。縄文土器が大好きな私の文章より良く書いていてびっくり! 歴史の答えは一つじゃない。体験しながら学ぶのはとっても大事なんです。

② 古墳時代
原明芳隊長



みなさんから本質にせまる質問があったり、うんと勉強になりました。「長野県の縄文土器百選」を企画中で、今日みんなの話を聞いて、もっと考えなきゃと感じています。子どもに選んでもらったり、説明してもらったら面白いかな。

③ 奈良時代
傳田伊史隊長



班ごとに別々の時代を学びましたが、ほかにもいろんな時代があって、それぞれ面白い事があるんですよ。また機会があったら、私たちを呼んでくれて構わないので、みなさんが歴史に興味をもってくれたらうれしいです。

“シナノ”がいっぱい 長野県立歴史館に行こう!

【開館時間】9:00~17:00(入館は16:30まで)
【休館日】毎週月曜日(祝日、振替休日にあたるときは火曜日)と祝日の翌日 [小・中・高校生の入館料] 土・日曜日、祝日は無料(平日は有料)
TEL.026-274-2000(千曲市産代清水)



長野県立歴史館のホームページより

みんなの五七五(俳句か川柳)、送ってね!
信毎こども記者クラブあてに送ってください。こども新聞で紹介します!

◎五七五って?
5文字 + 7文字 + 5文字 = 17文字でつくる短い詩

◎俳句と川柳って、なにがちがう?
俳句 = 17文字の中に季語(季節を表す決められた言葉)がある
川柳 = 季語がないもの

おとうさん きょうのごはんは さんまだよ

たどえば... これも俳句

どんな季語があるか、季語辞典で調べてみよう!

秋の季語だよ

ほら、五七五はむずかしくないでしょ!

ロゴも新しくなったよ! /
Go!キッズNewsと
いっしょになって、
全部で4ページに
パワーアップ!

信毎こども新聞は4月2日(土)から
毎週土曜日に引っ越します!

信毎の新聞語 第12版

【号外】
ごう・がい

大きな事件や事故、災害、とても関心の高い話題をより早く伝えるために、臨時で発行する新聞。普段の新聞は、1日ずつ発行回数(紙数)を付けているが、号外には回数がかからないので、こう呼ばれる。街頭での無料配布やインターネットでの公開が多い。

みんな最初は一年生

20本目
【記者29年目】
編集担当室長
宮崎健次郎

ここのビミョー!
ベテラン記者の失敗談

聞いたことがありますか。凍った諏訪湖で氷が盛り上がり、「道」ができるのです。その道がどの方向に向かっているのか調べる行事を取材に行きました。

神社の人たちと一緒に氷の上のり、道に沿って歩いて行きます。いい写真を撮ろうと、こちらも一生懸命です。みんなの後ろを夢中で追いついて、途中でふとわれにかえりました。「そういえば、湖の近くにある諏訪支社で、1年生の私の担当は、警察署のほかに下諏訪町と諏訪大社、それと諏訪湖でした。

1年生の冬は、それはそれは寒い冬でした。マイナス20度という日が何日もありました。あの大きな諏訪湖でさえ、全体に氷が張っています。

みなさんは「御神渡り」ってでもありません。向こう側の岸に着いて、ほつとひと安心。歩いて諏訪湖を渡ったのです。失敗談というか恐怖談というか、皆さん無茶は禁物ですね。